

人に歴史あり。

桐生市議会議員

いいいじま英規

ひでき

HIDEKI

です。



一冊の本。「こんな食品はドクです」(郡司篤孝著)。**食品添加物とは何だ!**桐生高校二年生時代。社会への眼が開く。思えば、政治家となるきっかけ。

受験を控えた**高校三年**父の勤めていた繊維会社が倒産。生活の基盤を失い、残されたのは、建てたばかりの新居の住宅ローンのみ。四十過ぎての再就職は、ままならず、父は布団の行商人、屋根職人、タクシー運転手等、様々な仕事をして、家族を支える。一方母は、生まれて初めてセールの仕事を始める。日本生命の外務員。私は、大学受験の断念も考えたが、両親に支えられ、特別奨学金をもらい、大学二年からは授業料免除を受け、歯を食いしばって大学を卒業。**かん難が人間を玉とする。**人一倍の自立心を大学一年のときに得る。「企業に頼らない。金儲けの歯車にはならない。小さくとも一国一城の主となる。」「下宿に紙をばり、司法試験の勉強をはじめめる。法に出会い、理念を知る。**この国的主**

権者は国民。しかし、現実はずうー!社会への静かな怒り。

二十三歳 万全の準備をしてのぞんだ三回目の司法試験にやぶれる。完全に自信を喪失して、帰郷。以来、大東京火災海上保険桐生支社、日本生命太田西営業部、株信栄(教材販売・学習塾)と二十代、いくつもの仕事を経験。

二十八歳 転職が訪れる。結婚の仲人を頼みに行った県議会議員から三十八歳で立候補して落選、今浪人中の衆議院議員予定候補者が秘書を探している。一定の学識があり、営業感覚も持っている人を探している。君の事も知っては非どくだ、と言っている。私が責任を持つからやってくれないか。」と請われる。決断。理由あり。野党

第一党の候補者だった事。理性的な市民の最低限の責任として、政権交代可能な二大政治勢力をつくるべき!政治に文句ばかりを言ってもだめだ。野党を鍛えよう!

三年一ヶ月の秘書生活。想像を絶する。二十四時間、三百六十五日、年中無休。秘書の一挙手一投足の結果が代議士に。秘書は完全に人格を空にして代議士と同化。須永徹代議士が小川省吾代議士の第一秘書だっただけに、その秘書教育は厳しい。愛情を持った厳しさだけに否と言えない。無我夢中で過ごした三年一ヶ月、代議士と同化した三年一ヶ月、それだけに、須永徹代議士を急性心筋梗塞で失ったときの絶望感。今も身震い。須永さんは、素晴らしい兄貴(享年41歳)でした...合掌 **三十歳**

裏面へ続く

司法書士法人リーガル・パートナー

【桐生オフィス】 桐生市浜松町1-6-36
Tel 0277-20-6131 Fax 0277-20-6132
【太田オフィス】 〒373-0853 群馬県太田市浜町19番29号
【高崎オフィス】 〒370-0046 群馬県高崎市江木町348番地19
レーベンリヴァーレ高崎ディアレスト906号

有限会社オフィスイジマ

アフラック、メットライフ生命、オリックス生命、ソニー生命、三井住友海上
【本社】 桐生市川内町2-35-3 Tel/Fax 0277-65-8222
【第一営業所】 リーガル・パートナー桐生オフィス内

HIDEKIの過去、現在、そして未来へ...
ボランティア募集中!

検索サイトから **飯島 英規** で 検索

いいいじま ひでき 飯島 英規

〒376-0041
桐生市川内町2-35-3
Tel/Fax 0277-65-8222



ご意見・ご要望などお気軽にお電話ください。

http://ijima-hideki.com hideki@office-ijima.com

090-7808-7611

三十四歳 はじめての市議会議員選挙。

「市民政治の実現」「地方議員の資質向上」を旗印に、議会にのり込む。社会党（後に民主党）公認・労働組合推薦。二期八年、政党と組織に支えられて市議会議員を務める。一期目は16位当選。二期目は15位当選。若かった私は、選挙の本質、政治の本質というものを理解していなかった……。選挙は勝つという結果が大事、過程は二の次、と考えていた。何かに支えられるという事は、その何かにしぼられる事を意味する。市民の視点で、言いたいこと・やりたいこと、それが政党や組織の利害に反すると、その先は**一歩も進めない**。それは耐えなければならぬ事柄なのか、我慢しなければならぬ事柄なのか。すぐに悩む事になる。耐え我慢し、期数を重ねるべきか、それとも…悩み続ける。そんな時、ある衝撃の事件（民事一審確定）が起きる。そして私が当事者と

